

生命財産を守る水



～消火栓と防火水槽～



稲敷市立沼里小学校
3年 宮内 城太郎 村里 桜奈
4年 石橋 幸翔 岩戸 虎春 土井 柊瑠

調査の動機

小学校3年生の初めに社会と勉強をした時に、「くわしい地図からわかること」という学習をしました。2年生の生活科で使う絵地図とちがって、色々なことがわかります。どこにどんなものがあるのか、まわりの様子はどうなのか。そんな地図を使って何か調べてみたいと思いました。
そして3年生の時には、「くらしを守る」という単元で、消防について学びました。特に、おもしろいと思ったのは、学校や家のまわりの消防設備です。どんなところに、どんなものがあるのか知りたいと思い、調べることにしました。

調査の目的

学校の近くにある消火栓と防火水槽の位置をそれぞれ色分けして表わすことで、
①地いき全体として、どのような特ちょうがあるのか。
②消火栓と防火水槽のまわりの様子は、どうなっているのか。
③消火栓と防火水槽の設置には、何かちがいがあるのか。
④調べたところが気をつけなければならないことは何か。
について、地図から考えていきたい。

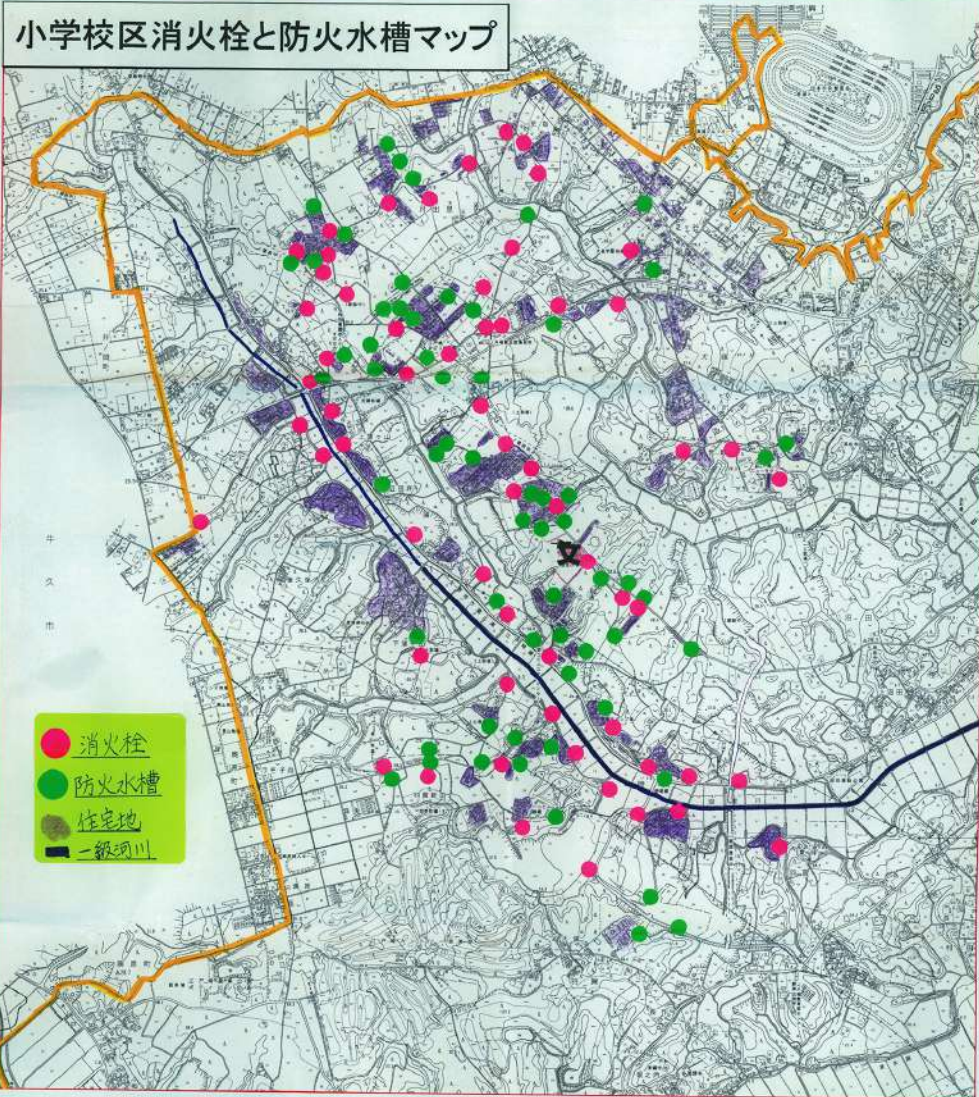
調査の方法

- ①学校周辺の消火栓と防火水槽の場所を調べる。
- ②調べた場所について、消火栓と防火水槽と色分けして、地図に記入する。
- ③消火栓や防火水槽が集まっているところを中心に、家や住宅地について、色を重けてみる。
- ④地図全体を見て、わかったことや特ちょうについて考える。
- ⑤まとめた地図を書く。

気づいたこと1

設置場所はバラバラ
地図全体をみると、消火栓も、防火水槽も、となりの場所までのきょりがバラバラです。だから、とてもたくさんかたまっている所もあれば、ほとんど見あたらない所もあります。1つ1つの消火栓や防火水槽の場所には、それぞれ意味や理由があることがわかります。

小学校区消火栓と防火水槽マップ



気づいたこと3

家が少ないのにたくさんある。
家がそんなにたくさんあるわけではないのに、消火栓や防火水槽がたくさんある場所があります。地図ではわかりにくいので、行って見ると、道路がとてもせまいのです。消防車が入れるのか心配なくらいです。たくさん消火栓や防火水槽があれば、入っていても大丈夫です。

気づいたこと2

家がたくさんあるのに、少ない。
家がたくさん集まっているのに、消火栓や防火水槽がとても少ない。どうしてだろう？ヒントは、社会の図鑑本にありました。私たちの市は、3分の1は、水道や下水道が通っていません。学校のすぐ南の住宅地にも消火栓や防火水槽が少ないのは、そのせいかもしれません。(地下水はあります。)

気づいたこと4

川の近くは少ない
私たちの地区には、一級河川の川が流れています。川に近いには道路があって、その道路は、家がならんでいます。しかし、川がらはなれた場所と比べて、消火栓や防火水槽は少ないようです。川から水が引けるので、そんなにたくさん必要がないのかもしれませんが。

気づいたこと5

まわりが林でかきおとした家のまわりが多い
まわりが木や林でかきおとした家や家の集まりの近くには、消火栓や防火水槽が多い！それは、燃えるものが近くにあると、火事が大きくなってしまふからだと思います。学校の北や西には、林が多いので、家のまわりがたくさん消火栓などが多くあります。

気づいたこと6

工場、会社、施設への近くにはある
家が集まっているわけでもないのに、消火栓や防火水槽がある場所がある。気をつけて見てみると近くには、工場、会社、老人施設など、人が多く集まる場所の近くには、必ずといってよいほど、数は少ないが、消火栓や防火水槽を見つけることができる。

まとめ

色々調べてみて、みんなで話した結果一番気になったことは、道路がせまい所は消防車が入れなくてたいへんだということです。もし車を止めてしまったら、じゃまで、入っていきません。無断駐車禁止を大人によびかけた。

